

Living  
with  
Sound.  
bichu no kuni

びっちゅうのくに  
備中国の  
くらしと音

第19回  
おかやま県民文化祭  
これがOKAYAMA!  
プログラム

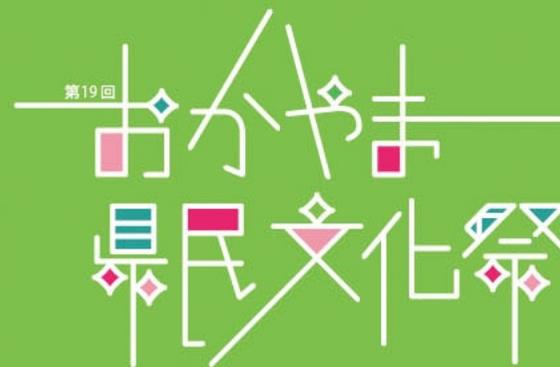
音・音楽・声・言葉に  
支えられてきた文化を訪ねて



どんな音が  
するのかな？



～音が聞ける冊子～  
各ページのQRコードを読み取って  
様々な音に耳を澄ましてみよう。



毎年9～11月開催！  
プログラム数100以上  
県民総参加の文化の祭典

県民が文化に親しみ交流するとともに、日頃の文化活動の成果を発表する場として、県内各地で様々なプログラムを開催しています。岡山県文化連盟は、運営主体として、おかやま県民文化祭の盛り上げを図っています。

プログラムの詳細は  
総合パンフレットや  
WEBサイトをチェック！

おかやま県民文化祭2021 検索

KEN  
BUNSAI 01 「主催事業」

- **これがOKAYAMA！プログラム**  
備中国のくらしと音  
～音・音楽・声・言葉に支えられてきた文化を訪ねて～
- **文化がまちにあるプログラム**  
備前・備中・美作の各地域で  
人々が気軽に楽しめるまちを創出
- **君たちの未来へ！プログラム**  
子どもたちが参画する分野別文化団体の企画
- **みんなが主役！プログラム**  
《コンテスト・セクション》  
・第56回岡山県文学選奨(8部門)  
・第72回岡山県美術展覧会(2会場)  
・第5回きらぼし☆アート展(1会場)  
《文化創造セクション》  
・アートの今・岡山2021(3会場)

KEN  
BUNSAI 02 「共催事業」

- **「元気」にチャレンジプログラム**  
文化パワーアップ・アクション助成  
・子どもたちの文化活動を支援する活動  
・団体のレベルアップを図る活動  
・文化で地域を元気にする活動

KEN  
BUNSAI 03 「参加事業」

- **みんなが主役！プログラム**  
《サポート・セクション》10部門  
①音楽 ②舞踊 ③演劇 ④伝統芸能  
⑤美術 ⑥映像 ⑦文芸 ⑧生活文化  
⑨文化講演・シンポジウム  
⑩総合(市町村文化祭等)

3つの密を避け  
マスク着用で楽しもう！

- ご注意ください -

掲載内容は、8月18日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の拡大防止によりイベントの中止や開催時期・時間等が変更になる場合がございます。最新の情報は各団体までお問い合わせください。

本リーフレット作成にあたり、ご協力いただきました関係各位に心より御礼申し上げます。

編集・発行者 | おかやま県民文化祭実行委員会(公益社団法人岡山県文化連盟、岡山県)  
発行 | 2021年8月  
デザイン | 株式会社 LogooDesign  
問い合わせ | 公益社団法人岡山県文化連盟  
〒700-0814 岡山県岡山市北区天神町 8-54 岡山県天神山文化プラザ 3F  
URL o-bunren.jp MAIL bunkaren@o-bunren.jp  
TEL 086-234-2626 FAX 086-234-8300



# 備中国のくらしと音

「音・音楽・声・言葉に支えられてきた文化を訪ねて」

ちょっと耳を澄ましてみましょう。

たとえば、朝、布団の中にいるあなたの元にどくお寺の鐘の音、時報がわりの音楽。近所のお年寄りか挨拶する声。誘い合わせて出かける小学生のおしゃべり。しばらくすると、学校や工場の始業のベル。車のエンジン音や自転車のブレーキの音。犬や猫の鳴き声。

外に出れば鳥の鳴き声。木々を揺らす風の音。潮騒や川のせせらぎ。時には雨音。草を刈る音。鶏や牛の鳴き声。誰かが楽器を練習する音。幼稚園の園児が遊ぶ楽しげな声。仕事場から聞こえてくるモノづくりの音。放課後の運動部の掛け声。

夕方になれば、家路を急ぐ人々のざわめきに溢れる駅のプラットホーム。どこからか料理をする音や匂い。ダンスの練習をする若者が流す音楽。店で談笑する人々。グラスやお皿がぶつかる音。お風呂の洗い場に響く湯桶やお湯の流れる音。

寝てしまったその音は聞けていないかもしれないけれど、誰かに向かって話す深夜ラジオの声、遠くを走る貨物列車の音、まだ暗いうちに漁に出ていく船のエンジン音。

くらしをいろいろする音は、かくも多彩です。コロナ下、人同士が離れていても、声や音で人の営みを感じ安心された方も多いのではないのでしょうか。

しかし、昨今、色々な国で、音に対する寛容度が低くなってきていることが心配されています。日本もしかり。再生機器の発達で、どこにいようと、いとも簡単に、自分の好きな音を楽しめる時代になりましたが、くらしの中にこれまでごく自然に存在していたさまざまな音が、なぜか、ゆつたりと受け止められなくなりつつあるようです。

最近、フランスでは匂いや音(ニワトリの鳴き声や牛の匂いなど)を、田舎に特有な「知覚的文化遺産」として守る法案を作りました。逆に、オーストラリアでは大きな音が出るカウベルの代わりに、牛にGPSをつけるという、現代的な解決策が採用されました。知覚的文化遺産とは、まさに文化芸術の根っこを支えるものであり、そして、人間が生きていく上で最も大切なものであるように思います。これだけでなく、互いに息を潜めてくらし、表現することもままならない、生きる音のなごい世の中になってしまいました。

今年のおかやま県民文化祭「これがOKAYAMA! プログラム」では、「備中国のくらしと音」音楽・声・言葉に支えられてきた文化を訪ねて」をテーマに、県民文化祭期間中に備中国地域で開催される、音にまつわるプログラムや、それを育み音が生まれる場所、さらに音と響らすキーマンをまとめてご紹介いたします。備中国エリアには、音楽に親しむ人が多く、専門の大学もあります。また楽器を手作りする人もいます。このエリア出身の若いシンガーソングライターを思い浮かべられる方もいるでしょう。仕事場や盆踊りなどの民謡民舞もたくさん残っています。神楽などに代表される伝統芸能も盛んです。山間部ではヤギの鳴き声のどかに響き、工場ではモノづくりをする音も聞こえます、酒蔵に音楽が流れていたりもします。

「くらしと音」で取り上げるのは、音、音楽、声、言葉。音楽ホールやライブハウスだけでなく、生活する環境の中で出会うさまざまな音の豊かさに気づくことにより、私たちがこれまでに無意識的に育んできた知覚的文化遺産に目を向け、いや、耳をかけたむけ、それをこれからも寛容度を持って大切にしていきたいと思えます。どうぞ、「一緒に、各地の音を訪ねてみましょう。」(大月ヒロ子)

## 備中国 bichu no kuni



おかやま県民文化祭「これがOKAYAMA! プログラム」は、大月ヒロ子氏の企画・監修のもと、岡山県内の優れた文化・芸術資源を掘り起こし、その価値を県民の皆様が再認識することを目的として、おかやま文化芸術アソシエイツが運営・実施しています。



大月ヒロ子

武蔵野美術大学卒業後、板橋区立美術館学芸員として数多くのワークショップや展覧会を企画。その後独立して有限会社アイデアを設立。九州国立博物館「あじっば」、国立歴史民俗博物館「たいけんれきまはく」、大阪府立大型児童館 big bang 他で、コミュニケーションを誘発する新しい学びの場のデザインに取り組み。倉敷市玉島の実家を改装して、日本で初めてのクリエイティブリユース(家庭や企業から日常的に生み出される廃材をそのまま廃棄せず、人のクリエイティブティ(創造性)を使って、これまでに見たこともないような素敵なモノに生まれ変わらせる取り組み)の拠点「IDEA R.LAB」を開設し、全国から注目を浴びている。平成 29 年 7 月、おかやま文化芸術アソシエイツのプログラム・コーディネーターに就任

さらには、**「カラフル備中」をチェック!**

さらに詳しい情報は、**「カラフル備中」**をチェック!



カラフル備中

<https://www.bichu-okayama.jp/>

### 備中国(びっちゅうのくに)とは

旧国名。吉備国を大化改新後に前・中・後に分けたうちの一つ。岡山県の西半部。※引用：広辞苑第七版

今回の「これがOKAYAMA! プログラム」では、備中エリア(倉敷市・総社市・早島町・笠岡市・井原市・浅口市・里庄町・矢掛町・高梁市・新見市)10市町を対象としています。

### 温暖な気候の瀬戸内海と中国山地に育まれた豊かな自然が魅力

備中国は、南は瀬戸内海に面し、北は中国山地に抱かれた、自然豊かなエリアです。また地域を流れる高梁川の豊かな水に恵まれ、古くから多彩な食文化を育んできました。美術館や歴史文化遺産など観光スポットも数多く、四季を通じて楽しめます。

### 備中国、3つの魅力

#### 01. 雄大な大自然で癒される

瀬戸内海を有する備中エリアは海も山も楽しめる自然がいっぱい! 新見市の鍾乳洞や笠岡市の笠岡諸島など雄大な自然を堪能できます。また、井原市や浅口市には天文施設が多く存在しているので、美しい星空を眺めながら宇宙の面白さを体験できます。

#### 02. 悠久の歴史に思いを馳せる

江戸時代、「天領」として栄えた白壁の町倉敷美観地区や、総社市の備中国分寺、桃太郎伝説に所縁のある鬼ノ城など、古代から数多くの史跡が残る備中エリア。歴史に思いを馳せながら散策を楽しむのもおすすめです。

#### 03. 海の幸、山の幸を堪能

高梁川の豊富な水資源により、昔から酒づくりが盛んな備中エリア。ピオーネやマスカットなどのフルーツや、瀬戸内海の海の幸、牡蠣やタコも味わえます。



さらに詳しい情報は、**「カラフル備中」**をチェック!



カラフル備中

<https://www.bichu-okayama.jp/>

このページは、「カラフル備中(岡山県備中県民局)」の情報をもとに作成しております。



民謡歌手  
田中みずほの  
「くらしと音」

♪ ハアアア アアアア

博労たちが馬市の往来で馬を曳く。移動は、通行の邪魔にならない夜間。これは臆病な馬にとって都合がよかった。しかし夜間の移動は心細い馬は眠くなる。闇は危険だ。周囲に自分の位置を知らせ、草むらからウサギやキツネが飛び出して馬を驚かせないために大声で「夜曳き唄」をうたう。「くらしと音」、音？いや、多分「節」だ。「落ち着いて...ここにいるよ」私は今日も、こぶして語るのだ。

Profile | NHK邦楽技能者育成会を経て、昭和56年NHKオーディション合格。全国放送NHK番組「日本の民謡」レギュラー出演。学校教育の場で「日本の音楽」講座を行う。また民謡の発掘に取り組み、古調民謡の現代風アレンジなど、全国に岡山民謡を紹介。地域の祭典からミュージカルなど幅広い作風の作曲・編曲も高く評価されている。岡山県民謡民舞連盟事務局長

### 備中地域には 他にもこんな民謡が...

「日本民謡大観(中国篇)」(昭和44年日本放送出版協会発行)には、岡山県の民謡が166曲掲載されており、そのうち備中地域のものは88曲と約半数に上ります。さらに、笠岡市島嶼部の民謡が38曲掲載されるなど、備中地域、特に島嶼部では多くの民謡が歌われてきたことが分かります。全国どの地方にも必ず残っている子守唄をはじめ、鉦打(くわうち)唄、田植唄、苗取唄、田の草取唄、水車踏み唄、麦打唄、唐箕(とうみ)唄、初摺(のみすり)唄、摺白(すりうす)唄、搦白(つきうす)唄、餅搗(もちつき)唄など農作業に関するものや、素麺掛け唄、油締め唄、酒造唄、綿打唄、糸繰り唄、藁打唄、真田組唄、鉱山唄、牛追掛など地域の産業に関するもの、さらに道中唄としての参度節やかつて物流の要であった高瀬舟の櫓漕(ろこぎ)唄である高梁川舟唄、また大漁を願って唄う鯛漁唄やいかなご唄、祝言や新築祝い、舟の新造時に唄われる祝唄、二つ拍子や四つ拍子、白石踊に代表される盆踊唄、祭りの千歳楽など、くらしに密着した民謡がたくさん歌われていました。

## ちやうしおいうた 千屋牛追唄



保存会が歌う  
千屋牛追唄を  
聞いてみよう！

NIIMI

(ハイパーバババ)  
千屋のエー(ハイ) 博労がよエ (ハイ)  
追い出す 牛は(ハイパーバババ)

県北の新見市千屋は、放牧に適した丘陵地が多く、昔から和牛の飼育が盛んであった。手塩にかけた牛を農家から芸洲(げいしゅう)久井の市、大山地藏が市(だいせんじょうがいち)へ送り出す道中で、博労(ぼくろう)や追い子が、同じ屋根の下で我が子のように育てた牛との別れを惜しんで唄われた、哀愁を帯びた美しい博労節。

千屋牛追唄保存会 | 新見の民謡である千屋牛追唄を広く唄い継ぎたいと、平成4年2月に結成。同年10月には「第1回千屋牛追唄優勝大会」を開催、以降、「正調千屋牛追唄全国優勝大会」と改称し第20回大会まで開催した。現在では、子どもを含む保存会メンバー約10名が、毎週水曜日午後6時30分から千屋公民館で練習を重ねている。また、千屋小学校の児童が8月の納涼祭で披露するために練習するなど、保存育成のための発表の場を数回実施している。



(新見市文化協会 発表会の様子)

## きたぎしまいしきりうた おおや うた 北木島石切唄(大割りの唄)

KASAOKA



保存会が歌う  
北木島石切唄を  
聞いてみよう！

(ヤレ)浪速名物(アア ヨイトショー ヨイトショー)  
大阪城も(アア ヨイトショー ヨイトショー)  
北木から運んだ 石でもつ(ヤレコラヨーホイヨー)  
(ヤレ)嫁に行くなら(アア ヨイトショー ヨイトショー)  
石屋の嫁に(アア ヨイトショー ヨイトショー)  
右も左も 金ばかり(ヤレコラヨーホイヨー)

「石切唄」は、石工が山から石を切り出したり、石を割ったりする時に歌われた労働歌。真夏の炎天下で、また、冬の凍りつくような寒風の中、「朝は朝星、夜は夜星」といわれ、朝早くから夕方星が出るまで、丁場(ちやうば。石切場のこと)での一日の仕事は、とても過酷な重労働だった。石工たちは、「石切唄」を歌うことで、危険で過酷な石の切り出し作業のつらさや厳しさを紛らわし、お互いを励まし合った。また、「石切唄」で拍子を取ることで、玄能(げん)のう。かなづちのこと)でノミを打つ作業の効率が向上したため、唄上手は賃金も高く、石工としての格も高かったと言われている。「石切唄」には、「大割り(おおやり)の唄」と「小割り(こやり)の唄」があるが、どちらも、北木島の自慢の石や景色、石工の生活、女性への憧れなど、唄い手が、その時その場で心に浮かんだ思いを「七七七五調」にして歌っていた。今回ご紹介する「大割りの唄」は、その代表的なものとして歌い継がれているものである。



北木島石切唄保存会 | 昭和51年に発足し、現在は会員10名で活動している。石材業以外の会員もいるため、石切り唄を実演する時は緊張感が漲る。先人達の苦労や努力に想いを馳せながら、玄能とノミの音でリズムを取り、皆で息を合わせ大声で力強く唄うように心掛けている。(石切り唄 実演の様子)

## しもついでし 下津井節



田中みずほさんが歌う  
下津井節を  
聞いてみよう！

KURASHIKI

下津井港はヨー 入りよて出よてヨー  
まとも巻きて まぎりよてヨー  
トコハイ トノエー ナノエー ソーレソーレ

岡山の南端に位置する下津井は、波が穏やかで、風待ち・潮待ちには最適な天然の良港。また、忘れてはならないのが塩分を含まない良質の水。瀬戸内海を東西に航行(こうこう)する船は、この水を求めて寄港。とくに北前船は、下津井の経済と文化に大きな影響を与えた。年間50~60隻(せき)、数十艘(そう)からなる船団には400人を超える船員が乗船しており、寄港のたびに町はにぎわう。また、下津井は重要な商いの場でもあった。当時の倉敷には広大な干拓地があり、のちに繊維の町となる児島では綿の栽培が行われていた。これらの痩せた土地で肥料として使われていたのが、北前船で運ばれるニシン粕(かす)。港には問屋が集まり、土蔵倉(ニシン倉)が建ち並び、倉を貸す倉敷料と問屋への融資で財をなした富豪もあらわれ、西国の大名を乗せた御座船や、朝鮮から訪れた使節の船が訪れ、下津井は瀬戸内有数の港として、広く知られるまでになる。港周辺には宿屋や飲食店が建ち並び、さらには遊郭も築かれ、旅人たちや停泊した船員たちでにぎわい、そのお座敷では、今に残る「下津井節」が連夜、唄われた。

## びつちゅう うた 備中ござおり唄

KURASHIKI



田中みずほさんが歌う  
備中ござおり唄を  
聞いてみよう！

(シャントコイ シャントコイ)  
惚れてくれるな ミナサン この家(や)の娘 (ハイハイ)  
ござおりなんぞに 目はかけな  
(ドツコイ ドツコイショ)

晴れの国「おかやま」。その日だまりのやさしい匂いがするごぞ。美しい文様(もんよう)を織り込んだ花ござは、「倉敷織」とも呼ばれ、古代より「モノづくりの国」としても知られるこの地の風土と、気質がおりなす倉敷の名品。夏の盛り、大きく伸びたイ草を刈り、泥に足をとられ洗う。泥水の中に漬け染められたイ草は重く、たいへんな作業であった。備後の地からはじまったとされるイ草の栽培。江戸時代に畳表の製造が盛んになり、慶長7年(1602年)長谷川新右衛門(しんえもん)が製造法に改良を加えてから急速な発展を遂げ、「備後表」の名で諸国に定まる。1本づつ手織りてつくるごぞ。つらくて単調な作業に、手が止まることのないよう「ミナサン・ネエサン」と互いに声をかけあった。

岡山県民謡民舞連盟 | 平成19年4月に県下の民謡民舞団体および保存会等を中心に会員数約300名にて設立。平成19年7月、岡山県文化連盟に正会員として加盟。以来、岡山に伝承されている民謡・民舞の発掘や再構築・研究、研修活動等を行っている。また、地域の民謡民舞の伝承と幅広い普及を図るため、次世代へと伝える育成事業にも力を注ぎ、定期公演やワークショップを開催。国民文化祭「民謡・民舞の祭典」へ出演など、県内外で活動を展開している。



(民謡・民舞の祭典の様子)



“民謡”を  
聞いてみよう!!

QRコード読込で  
YOUTUBE再生

備中国に  
今も歌い継がれる  
民謡を聞いてみよう!

民謡は、日本語の発声、韻から生まれました。口伝により引き継がれたそれらの曲の歌詞は、労働時のつらい気持ちを払拭するための愚痴や、酒席での即興から生まれたものが多く、字余りや変拍子などの複雑で不自然なメロディのものも少なくありません。



「編む」を聴く

倉敷いぐさの  
瓶かごづくり

● 縄を編む、籠を編む、敷物を編む、1万年前から続く手仕事「編む」から聴こえてくるのはどんな音？

#### SPECIAL WORKSHOP

「編む」を聴く～倉敷いぐさの瓶かごづくり～

【日程】11月13日(土) 13:00-16:00 【対象】小学生以上

【料金】1,500円(いぐさの瓶かごをお持ち帰りいただけます)

【定員】10名 【会場】ウームプロカントクラシク美観地区店 2F

【問合せ・予約】086-234-2626 or フォーム <https://o-bunren.jp/livingwithsound/>  
前半は、民族文化映像研究所の「草・つる・木の恵み」を上映します。自然素材を使い暮らしの道具を作り出してきた手仕事の記録映像です。それを受けて後半は、倉敷ならではの手仕事、「倉敷いかご」に耳を澄ませます。須浪亨商店の須浪隆貴さんに「瓶かご」づくりを教わります。

くウームプロカントクラシク 美観地区店) 焼き物や籠、民藝ものから民具まで扱う古道具屋。古道具を、新たな用途の道具に作り変えたアップサイクル商品も扱っています。「素材は？用途は？どう作られた？どんな暮らしがあった？今ならどう使う？？」古道具を手に取り、そのモノが語りかけてくる物語に耳を澄ませてもらえる場になればと願っています。



● 樽の生産から生まれた楽器カホン

#### SPECIAL WORKSHOP

樽樽の技術で間伐材を楽器に！

【日程】11月6日(土) 13:00-16:00

【料金】無料 【定員】8名

【会場】立花容器 木製工場

(〒713-8577 岡山県倉敷市玉島柏島7047)

【対象】小学生以上

【問合せ・予約】<https://reserva.be/joyfuljourney>

倉敷市玉島の歴史から立花容器の経歴の案内、木製工場見学、当社樽樽を使った楽器作り挑戦していただきます。また、ドラム講師を交えてリズムワークショップをします。作った楽器以外にも立花容器の製品を改造して作った楽器に触れてもらいます。

く立花容器株式会社) 創業106年の立花容器の樽樽技術が、間伐針葉樹材の楽器材としての価値を高めることがわかり、カホンの製造販売をしています。身近な材料から生活用具を作り出す伝統技術を見学してもらい、楽器作りやリズムワークショップを体験してもらいます。



● 耳を澄まして観る、映像のない映画

#### SPECIAL WORKSHOP

「音の映画-Our Sounds」上映会&トークセッション

【日程】11月28日(日) 13:00-15:00 【料金】無料 【定員】30名

【会場】高梁市図書館多目的室 【対象】どなたでも

【問合せ・予約】086-234-2626 or フォーム <https://o-bunren.jp/livingwithsound/>  
「音の映画-Our Sounds」の上映お披露目会と出演者、参加者によるトークセッション

#### くハブヒロシ)

私たちは「音の映画-Our Sounds」を作りました。この映画は映像のない音だけの映画です。高梁市の日本語教室に集まったメンバーたちと作りしました。外国人と日本人という属性を超えた、「いきもの」としての出会い、グローバル化の境界で揺らぎつつも、そこから生まれる言葉、対話、営み、音楽、響く音、風景、小さなくぼみを見つめました。目を閉じることで見えてくる世界に、耳を澄ましてみませんか？



● 身体を使いながら手話を楽しみませんか？

#### SPECIAL WORKSHOP

手話に学ぶ身体表現

【日程】11月13日(土) 13:00-16:00 【料金】1,000円 大学生以下500円

【定員】10名 【会場】倉敷町家トラスト事務所 【対象】小学生以上

【問合せ・予約】企画 岡山 090-7997-0591

講師は元津山市役所障害福祉課の職員で、現在は岡山県知事、岡山市長の手話通訳者として活動しながら、人形劇の手話通訳や、ダンス公演へ出演など、手話を通じて(活かして)いろんな表現を模索している佐藤美智子さん。①挨拶(手話にて)、②身体全体でリズムを感じる(パーカッション付き)、③身体の内面(感情)を身振りで、④身体の外面からの刺激(自然など)を身振りで、⑤③と④を組み合わせたミニドラマを手話で、⑥挨拶(手話にて)

#### くNPO法人企画岡山)

様々な表現者が一緒に、アイデアを実現するために、一人ひとりが自ら考え、学び、判断し「企画・制作」していく場づくりを行っています。

# SPECIAL WORKSHOP

「第19回おかやま県民文化祭これがOKAYAMA!プログラム」として、くらしと音を楽しむ特別なワークショップを開催いたします。どうぞお楽しみください※ワークショップは全て申込が必要です。

くらしと音を  
楽しむ  
ワークショップ

Living  
with  
Sound.

bichu no kuni

**詩的実験** **なぜだか気になることばたち** サイン・コサイン・タンジェント  
オルトキー 聖田永年私財法  
領収証 モナド 波浪注意報

● なぜだか気になることばを集めて遊んでみませんか？

#### SPECIAL WORKSHOP

【詩的実験】なぜだか気になることばたち

【日程】11月13日(土) 10:00-12:00

【料金】1,000円(お茶とお菓子つき)

【定員】20名

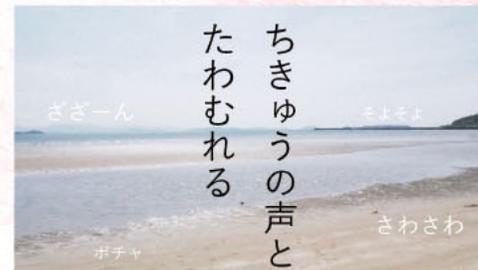
【会場】住吉町の家 分福 (〒710-0046 岡山県倉敷市中央2丁目13-3)

【対象】子ども~大人

【問合せ・予約】渡邊めぐみ [megwatanabe7@gmail.com](mailto:megwatanabe7@gmail.com)

「領収証」という言葉が好き」と、外国の方。驚きましたが、「聖田永年私財法」とか、語感が好きなだけの言葉でありますよね。そんな言葉を集めたら、何が起きます？集まった言葉をどうすれば、詩になる？みなさんと実験的に詩をつくって遊びます。

く渡邊めぐみ)「詩のソムリエ」は、詩の楽しみかたを広げています。ことばと遊んで、感性のちがいを楽しむ。そんなふうには詩にふれられたら、見えている世界がすこし変わるかも。詩が好きなら、苦手な人も、一緒に詩で遊び、心をふわり軽くしましょう。



● 海辺の校舎で、海や鳥の声を耳をすます、あたらしくてなつかしい一日

#### SPECIAL WORKSHOP

【詩で遊ぼう】ちきゅうの声とたわむれる

【日程】11月7日(日) 13:00-16:00

【料金】1,000円(お茶とお菓子つき)

【定員】20名

【会場】シェアアトリエ海の校舎(〒714-0033 岡山県笠岡市大島中2553)

【対象】子ども~大人

【問合せ・予約】渡邊めぐみ [megwatanabe7@gmail.com](mailto:megwatanabe7@gmail.com)

人間界でいろいろあっても、地球は呼吸し、つねに声を発しています。そんな「声」に耳をすますと、ふだん感じていない気持ちに気づくかもしれません。詩なんてふだん読まないし、書かない……という人も大丈夫！詩のソムリエが楽しくナビゲートします。

## 歴史・文化の音と暮らす人 金光町大谷門前町アーケード下無声映画上映会 活弁士による語り(ライブ)

●ご自身の活動における「くらしと音」の関わりについて教えてください。

大谷 archive(アーカイブ)は、金光町大谷門前町の歴史文化と人を繋ぐ活動をしている。2018年無声映画フィルムが発見された。このフィルムは、大正13年に制作されたもので、当時の舞台である金光駅や商店街の様子が映っていて驚くほど懐かしい。ところが、無声映画に活弁士の語りと音楽家の演奏が加わることで芸術になっていく。

音楽によって無機質だった映像に命がふきこまれ、画面が立ち上がりうごきます。さらに活弁士の語り加わることで、彩が付き画面が華やかになる。音楽と活弁士の掛け合いが、観客の心一つにしていける。観客×活弁士×音楽家、相互作用を及ぼしながら芸術作品にしてあげられていく様が、素晴らしい。

●あなたが、誰かに聞いてほしいと思う、とっておきの「おと」を教えてください。

毎日同じように夜は明ける。その日は、私にとって特別な日であった。それは、新しい時代の始まる早朝のようであり、歴史を紡いだ先人たちが先祖と共にある朝だった。もうすぐ日が昇る。暗闇の中、本当に麗しく人々の心を幸せにしてくれる小鳥の鳴き声をした。その声の主はイソヒヨドリと言い、幸せの言い鳥と呼ばれている。コロナ禍の時代でもイソヒヨドリの鳴き声は、今を生きていることを寿ぎ、音んでいるかのような声だった。



大谷 archive  
金光英子  
Hidako Konko

Profile | 大谷 archive(アーカイブ)会長。元図書館員(学芸員や司書)の経験を活かし、大谷門前町にある「歴史・文化」と人々を繋ぐことで、地域の魅力を再発見してもらうことを目的として活動している。浅口市在住

QRコードを読み取って、音を聞こう!



## 古き良き時代の町の演奏家たち「シルバースター」

かつての夏祭りにはのど自慢大会というものがあり、みんなの楽しみでもありました。今でも存続している町があるかもしれませんが、音楽好きの人々の年1回の晴れ舞台を支えていたのは、同じ町に住む演奏家たちでした。どんな曲が飛び出して来ても、応えられる演奏家が、町のあちこちに住んでいました。日頃はそれぞれのお仕事に精を出していますが、何かがあると楽器を手に集まるのです。

そんな大人たちの楽団がこの「シルバースター」です。彼らが出したLPレコードには、メンバーの顔写真と、愉快的な紹介文が付いています。NHKのど自慢の伴奏者でアコーディオンやピアノを担当した井上昭衛さんは電気工事屋さん。シルバースターの代表者で司会を担当したのは、1960年代に自主映画制作もしていたペンギ屋の服部金太郎さん。他にも指揮、バイオリン、ドラム、クラリネット、ベースギター、テナーサクソフ、大正琴、フルート、エレクトーン、幾人もの歌手と大所帯でした。

シルバースターは1970年ごろに玉島で結成され、8年目の1977年にLPを作りました。そんな、本気度満点の、和気藹々とした音楽好きの大人たちが町にいたということが、子どもたちにとってもちょっと嬉しいことだったのではないのでしょうか。路地から音楽の練習をする音が聞こえる町は、顔が見えなくても、そこに人と人の心の交流があるように思います。(大月)



シルバースターのLP  
「玉島ブルース・モタエの夜」

## 歌・音楽・言葉の音と暮らす人

### 対話のプロセス、出会いの響きを奏でる

●ご自身の活動における「くらしと音」の関わりについて教えてください。

私は、音楽活動の他に、地域づくり、丹田呼吸の普及などしていますが、活動の一つの核となっているのが「対話」です。対話の対象は人間とは限りません。東京から岡山まで遊鼓を叩き歩いた時は、その道のりと。長蔵音頭という地域の芸能を再生した時は、亡くなられた先人たちと。丹田呼吸をしている時は、自らの心と。日々の営みの中で、声にならない声、音にならない音と対話し、そのプロセスを、出会いの響きとして奏でようとしているのだと思います。

●あなたが、誰かに聞いてほしいと思う、とっておきの「おと」を教えてください。

聞こえてくる音に、耳を澄ましてみる。高みではなく、深みが見えてきました。自らの音に、耳を澄ましてみる。ゆっくりと息を吐いていくと、心臓のリズムもゆっくりしてきました。音にならない音に耳を澄ましてみる。石も叩けば喋りだしました。私たちの音に、耳を澄ましてみる。消えてしまう生き物として、愛おしくなりました。色んな音を感じて、見つけて、最高に楽しんでください。そして、それらをまた教えてください。



金ノ PROBORA 舎  
ハブヒロシ  
Hiroshi Habu

Profile | インドネシア国立芸術大学やセネガルのドゥドゥ・ンジャエ・ローズ・ファミリーのもとで音楽を学ぶ。大学卒業後は馬場町バンドや松崎ナオらの活動や、関ジャニ∞のレコーディングなど様々なジャンルで活躍。東京から岡山まで自作太鼓「遊鼓」を叩き歩いて移住。2019年CD「長蔵音頭」発表。高梁市在住

## 音楽と暮らす人

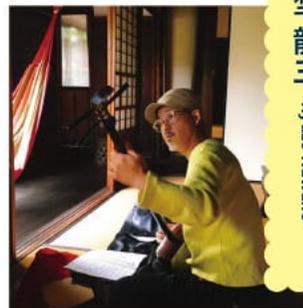
### 音に触発されて始まる作品づくり

●ご自身の活動における「くらしと音」の関わりについて教えてください。

10代の頃から、時間があればCD・レコード屋にいました。ジャケットを眺めたり、聴いてみたい曲を店内で流してもらったりして音楽に夢中になりました。それからは寝るとき以外、つまり制作中はずっと音楽を聴いています。今ではときどき、自分の作品に合わせた音を作って遊んでいます。

●あなたが、誰かに聞いてほしいと思う、とっておきの「おと」を教えてください。

僕は個展の際に、作品をイメージしたサウンドトラックを制作することがあります。たとえば「常夜海(とこよのうみ)」という作品には、古いチェロと扇風機を使い曲を作りました。光のない海をわたるような、得体の知れない闇を漂うような作品と音の距離感がすごく気に入っています。



芸術家  
川埜龍三  
Ryuzo Kawano

Profile | 独学で美術を学び、既存の価値観に左右されない独自の芸術活動を続けている。近年は、彫刻や絵画のほか特定の地域の歴史を掘り起こし、その土地に眠る伝説を可視化する手法で象徴的な作品も発表している。笠岡市在住

## 言葉の音と暮らす人

### ちがいに耳をすませば、詩のはじまり

- ご自身の活動における「くらしと音」の関わりについて教えてください。

詩を広める活動をしていると、詩人たちはこまかい音のちがいをとらえていることに気づきます。雨の音だって、「ほったにあって ぶちん／＼のひらのなかにぼとん／＼こいぬのはなにびこん」(岸田衿子「いろんなおとのあめ」)ほら、楽しい詩に。なんだか自分も作れそうでしょう？

たとえば、ドアの音。元気な時は「バタン！」とひらくし、いやなことがあった日は「とぼん…」としまります。今度は海のそば。波は「ざぶーん」ですか？日によっては、「ごぼ」「パチャ」「ポコ」いろんな言葉を発していますよ。

聞きなれたはずの音も、立ち止まってよく聞いてみると、それが詩のはじまりかもしれません。

- あなたが、誰かに聞いてほしいと思う、とっておきの「おと」を教えてください。

モンゴルの遊牧民と、馬に乗ったときのことです。「走れ」の合図はふつう馬の腹を蹴りますが、馬と育ってきた彼らはちがいました。草原をさあ走ろうというとき、フワッと歌うのです。一節彼らが歌うやいなや、待ち構えていたように馬が大地を蹴って駆けます。モンゴル語は口を大きく開けず発音するため、歌はひとすじの風のようなのです。「また歌って」と身振り手振り頼みましたが、シャイな彼らは歌ってくれませんでした。



詩のソムリエ  
渡邊めぐみ  
Megumi Watanabe

Profile | 1989年福岡生まれ。小学校入学時に詩の本「ひばり」が配られたことを機に詩の楽しさを知り、大学で戦後詩を研究。2015年に教育系企業に入社、教材編集職を経て開業。会社員をしながら始めた「詩のソムリエ」を本格的に始動し、詩のワークショップ・詩に関する執筆などを幅広く行う。倉敷市在住

QRコードを読み取って、音を聞こう！

### 暮らしのリズムをそっと支えるミュージック 「ミュージックサイレンの秘密」

玉島の町には、朝6時に「おもちゃのマーチ」が、夕方6時には「夕焼小焼」が、夜10時には「ブラームスの子守唄」が、時報代わりに流れています。朝早くお寺の鐘の音に混じって聞こえてくる「やっここおきだした・・・」の音楽も、とっぴり暮れた夜に流れる「ねむれーよ、ねむれー・・・」の音楽も、何かに気を取られていて聞こえないこともあります。ふとしたタイミングで耳にする、と、なんだかいい感じに1日をはじめられたり、終わられるような気がして不思議です。

のんびりとした玉島の空気にとっても馴染んでいる音だと思います。このセンスの良い選曲に当たったのは、誰なのか？調べてみましたが、残念ながら分かりませんでした。1966年ロータリークラブにより玉島支所に寄贈され、1日4回鳴るようにセットされたそうです。その後1983年に支所の高層棟屋上にスピーカーが設置され、今は防災行政無線に組み込まれて管理されています。この音楽を流すという発想の元には、<ミュージックサイレン>の存在があります。第二次世界大戦が終わり、空襲警報を思い出すような時報サイレンを流すのではなく、もっと平和な音楽をながそうと、日本楽器製造(ヤマハの前身)会長の声で1950年に作られたのが、<ミュージックサイレン>です。オルガンのような特殊な装置で、およそ半径5キロから10キロくらいのエリアに届くような設計になっていました。全盛期には、日本各地に184箇所以上設置され、最も多かったのは庁舎だったようです。機械の老朽化も進んだことから、今は国内でも6台ほどしか残っていません。記憶に新しいところでは、岡山県庁の屋上(2016年に終了)にも設置されていました。正午にシューベルトの「菩提樹」が、夕方5時にはドボルザークの「家路」が岡山の町に流れていました。設置は1957年。かつては朝7時と正午、夜の9時にも曲が流れていたそうです。(大月)

夕焼小焼を聞きながら川べりを散歩



## 音楽と季節の音と暮らす人

### 自らオーボエリード作りを手がける音楽家

- ご自身の活動における「くらしと音」の関わりについて教えてください。

散歩をするとき、そこにある「音」に耳を傾けます。

その季節に聞くことのできる自然の音、鳥たちや虫たちの鳴き声は日常の忙しさから一瞬解放されて落ち着くことができます。自然の音は私たちの生活に潤いを与えてくれる大事なものだと感じます。

私がオーボエを練習していると、時々窓の外にオーボエの音と競争するように「ヒヨドリ」の歌声が聞こえてくることがあります。可愛いですね。

- あなたが、誰かに聞いてほしいと思う、とっておきの「おと」を教えてください。

私が作っているオーボエリード。

原材料は南フランスで作られる葦です。その一本の木から細かい作業工程を経てリードが出来上がります。その出来上がったリードの音、そしてそれをオーボエにつなげた時に「ただの音」は意思を持った「音楽」に変わっていきます。

そんなオーボエの音色を聴いていただきたいです。



オーボエリード・アトリエ KOSUKI  
上月真子  
Masako Kozuki

Profile | 倉敷市出身。在住。愛知県立芸術大学を経てドイツ・デトモルト音楽大学にて研鑽を積む。ドイツ・ベルギッシュェンフォンカー、デトモルト音楽大学講師などを経て2019年帰国。アトリエを立ち上げリード製作販売、演奏活動を行う。

## 神楽と自然の音と暮らす人

### 原点回帰できる神楽の音・言葉・舞

- ご自身の活動における「くらしと音」の関わりについて教えてください。

どこからともなく聞こえてくると心が躍る、そういった音をみなさんお持ちだと思います。実家の隣がお祭りの山車や神輿の練習場だったのでお祭りの音に慣れ親しんできました。生まれ育った地域で生まれる音は常にその人と共にあり、楽しい思い出が紐づいていると、一気に純粋な自身の核とその地域を再度結びつきます。そういった感覚を呼び起こすものの一つとして、岡山の備中地方に備中神楽があります。反復的な音や所作が繰り返される神楽は、舞う側も、見る側も、申し合わせずとも、身体に刻んだ音のリズムに反応することが非常に心地よいと感じます。そして独特の節と和歌を語り、音として地域の歴史をつないでいく大切さを実感しています。

- あなたが、誰かに聞いてほしいと思う、とっておきの「おと」を教えてください。

自然がもたらしてくれる音が好きです。お出かけした時に急にお天気模様が変わり、雨が降り出し、大きな木や植物の下で雨宿りをして、ぼたぼたと落ちる雫の音。また、岡山では体験することはおそらく叶いませんが、ぼた雪が夜中に降り積もる音が好きです。本当に、「しんしんしん」と静寂の美しい音が耳に響き渡ります。翌朝に、降ったばかりの雪の上にはじめの一步を踏みしめる「ぎゅむっ」とした音も格別です。



特定非営利活動法人かんなぎ  
今野友紀  
Yuki Konno

Profile | 新潟市出身。高校から国内外を転々と、仕事でも多国籍な人々と触れ合う機会に恵まれ、文化の違いを感じてきたことが、自らの幼少期の原点につながる。お祭りがあたりまえにあり、人々が共助しあう暮らしを現代に繋ぎとめたいと思うようになり、神楽など地域の情報発信や様々な活動を展開中

## 高齢者が聴き重ねてきた音と暮らす人

### 暮らしの息づかいが聞こえる住まいと福祉

- ご自身の活動における「くらしと音」の関わりについて教えてください。

私は、大学の地域福祉学科で「音の文化論」という科目を担当しており、高齢者理解の一つの方法として「音」を切り口に展開しています。学生は、高齢者が生まれてから現在までどのような環境でどのような音を聴きながら暮らしてきたのかについて考えていきます。自然界の音、コミュニティーの音、暮らしの音など地球上にある全ての音を対象に、高齢者が聴き重ねてきた音の持つ意味や重要性について考察します。学生は、実際に新見市内の古民家や通りを訪ねて、五感を使って当時の暮らしの音を想像し体感します。この体験から、介護施設における快適な環境とはどういうものか、また、高齢者が早く暮らすには何が大切なのかなどを考えていきます。

- あなたが、誰かに聞いてほしいと思う、とっておきの「おと」を教えてください。

水の流れる音と鳥の鳴き声。新見市は高梁川の源流で水の豊かな地域です。どこを歩いていても川の流れる音が聞こえます。また、大小さまざまな滝も点在しています。緑の山に囲まれた街を流れる水の音とそこにあるさまざまな鳥の鳴き声は、透き通っていて本当に美しいです。



吉村 淳子 Junko Yoshimura  
ピアノ教室アレグロ主宰

Profile | 作陽音楽大学卒業。大阪市立大学大学院修了。新見公立短期大学にて保育者養成と介護福祉士養成に39年携わる。退職後、新見公立大学非常勤講師。大学院にて音の文化と環境音楽論について研究。人の暮らしと音について、大学の授業を通して地域と連携しながら活動を行う。新見市在住。



QRコードを読み取って、音を聞こう！

### いくつもの作業音が重なり合う場「木造船作りの音」

玉島に住む加瀬野久志さんは、木造船機船を作る造船所に生まれました。家業は継がれませんでした。造船所で作られた船たちが、海上で様々な物資を運び、活躍する姿を追って、長年にわたり写真や映像に記録してこられました。また、木造船を作る現場にもしばしば足を運び、その作業も記録してこられました。その作業は特殊な工具を使い、伝統的な手法の積重ねで出来上がっています。船大工さんが手斧の「ちょうな」をつかって船の骨組みである竜骨を削って調整する音。船体を

構成する板と板の間に「すりノコ」というものを入れて隙間を作るように挽く音。この隙間には「模肌」(ヒノキやコウヤマキの甘皮を砕いた繊維)が詰め込まれ、水の侵入を防ぎます。亜鉛がけした鉄の太い釘に「模肌」を巻いて、船体に打ち込む「槌」の音などなど。夏の暑い時期に撮影された造船現場の作業映像には、セミの鳴き声とともに、船大工さんそれぞれの作業音が響き渡っています。各パートの作業の合奏こそが、木造船の作業の特徴だと加瀬野さんはおっしゃいます。しかしそれでも、それぞれの作業の音を聞くだけで、どの部分に、今手を入れているところなのか分かるそうです。やがてこういった音も、私たちは聞けなくなってしまうのでしょうか？それは、音とともに古から伝えられてきた大切な技術も消えてしまうことを意味します。(大月)



木造船作りの様子 撮影：1988年9月

## ピアノの音と暮らす人

### くらしと愛おしい音

- ご自身の活動における「くらしと音」の関わりについて教えてください。

私は幼い頃からピアノを弾いています。本を読むように楽譜を読んでいました。楽譜を読み、鍵盤を叩く。まるで物語に没頭するかのように楽譜から生まれる音に夢中でめり込んでいました。私とピアノは色々な気持ちをシェアできる大切な友達です。大人になって、二つの大事な人と出会いました。ジョン・ケージの「4分33秒」、それと、とある演奏家の「楽譜の中に意味の無い音、余白、は一つもありません」という言葉。それら二つの事柄は、私を全ての音、全ての存在を肯定へと導こうとしてくれています。耳を澄ませば聞こえてくる音、あなたが紡ぐ音。くらしは愛おしい音に溢れています。

- あなたが、誰かに聞いてほしいと思う、とっておきの「おと」を教えてください。

初めてターシャ・テューダーさんをテレビで見た時、私のピアノのお師匠、故浅原茂子先生を思い出しました。お庭のお手入れをしながら制作するお姿に、先生のお姿が重なりました。浅原先生は私が暮らす地の文化を育むことに尽力なさっていました。とてもナチュラルに、本当にチャーミングな先生でした。私はその先生から預かり受けたピアノをこの地を支える駅に寄贈し、先生の願いを継いでいくことができたと願っています。誰かが優しく紡ぐ音、その音に憩う誰か。そんな心の循環を生む音をぜひ身近に聞いてもらえたらと願っています。



当眞 伊都子 Hoko Toma  
ピアニスト・ボーカリスト

Profile | ピアニスト、ボーカリスト、作曲家。ピアノを用いて風景や物語を描き出す、その独自の美意識を買った表現は、音楽家、美術家、など多方面から評価を得ている。2020年3rdアルバム「The Window」をスウェーデンのポストクラシカルレーベル1631Recordingsよりリリース。2020年より、菊地徳と「synfilms」スタート。倉敷市在住。https://itokotoma.com

## 「聞き書き」の音と暮らす人

### 言葉で表せない余白の部分を五感で聞く

- ご自身の活動における「くらしと音」の関わりについて教えてください。

2008年笠岡市市民活動支援センター常駐スタッフとして着任。事業を行うにあたり、滋澤寿一氏(渋沢栄一の曾孫、真庭なりわい塾塾長)に相談したところ、「聞き書き」が良いと思う」という一言で、2009年から笠岡で始めた。今はフリーで備中を中心に、滋澤氏の協力により「聞き書き」の12回目を実施中。地域で暮らす人生の先輩であり、自分とは違う時代を生きてきた話し手の、仕事や生きざま、知恵などを「聞き」、録音した言葉を高校生がすべて「書き」起こす。大変なその作業は、話し手の言葉では表せない思いや、情景が浮かぶ瞬間でもある。「コミュニケーションは言葉だけでなく、心で聞くことだと気づいた」と高校生は言う。話し手の言葉を五感で感じること、高校生を成長させるようだ。

- あなたが、誰かに聞いてほしいと思う、とっておきの「おと」を教えてください。

身の回りの人のこころのおと(声)、笑い声や泣き声、ささやき。にわか野菜作りで収穫した野菜たちの、美味しいおと。耳には聞こえない、音の無いおと。太古の昔には当たり前前に感じていただろう、おと。五感を研ぎ澄まし、音の無いおとに耳を傾けてみてはいかがでしょう。



備中「聞き書き」実行委員会  
森光 康恵 Yasue Morimitsu

Profile | 倉敷で生まれ、玉島で育つ。現在は総社市在住。自宅を自ら改装し、古民家風ギャラリー「カフェきび工房」結をオープンして13年目を迎える。一般社団法人高梁川流域学校理事。備中「聞き書き」実行委員会事務局。そうじゃぼっけえ造形の会事務局。高梁川流域音楽会兼KANADE事務局

## 音の記録 音の記憶

OTO NO KIROKU

OTO NO KIROKU

KURASHIKI  
倉敷市

03

日本酒の醸造に寄り添うモーツァルト  
菊池酒造株式会社

晩秋の蔵、“コンサート”の開演です。早朝の静寂にシュッシュツと響く蒸米のエネルギーなスチーム音。蔵人たちの掛け合う声。瓶と瓶がカンカンとやさしく当たりリズムを刻む。耳を澄ませばツツツとモロミが神秘的な生命の音を。そしてこれらが一つにまとまるように、当蔵では酒造りの間、モーツァルトの荘厳な音楽が流れている。倉敷管弦楽団を設立・指揮を務める蔵元の菊池東は、蔵の中でもたくさんの音を統率し、一度飲んだら忘れられないお酒造りに導く杜氏でもある。菊池東自身もヴァイオリンを奏でる音楽家の顔も持ち、毎年春には蔵開きイベントで自ら演奏したり、話題の音楽家とのコラボレーションで好評の酒蔵コンサート。銘酒「燦然」「奇跡のお酒」は創業143年の伝統と情熱的な音で醸されている。



[住所] 〒713-8121 倉敷市玉島阿賀崎 1212  
[電話] 086-522-5145  
[MAIL] sanzen@kikuchishuzo.co.jp  
[WEB] <http://kikuchishuzo.co.jp/>  
[SNS] [www.facebook.com/kikuchishuzo](http://www.facebook.com/kikuchishuzo)

備中地域の  
方言BICHU DIALECT  
～岡山弁協会 PRESENTS～

岡山県内でも、備中・備前・美作ではことばが微妙に違います。例えば、「しなさい」を備中では「しねー」、備前では「せられー」、美作では「しんちやい」というように、きれいに分かります。備中の人々が、「早くしなさい」を「はよーしねー」と言ったら、「早く死ね」と誤解されて驚かされたというの有名な話です。備前では「そんな」を「そねーな」と言いますが、備中では「そげーな」「そがーな」という人が多いようです。また「ジャンケンポン」を、「リッチンタ」(備前)、「ワンテーカホイ」(美作)、そして「インジャンホイ」と備中のどこかで使うとか使わんとか?今は、廃れていくことばが多いのが残念です。倉敷の会員さん(70歳代後半)曰く「昔やーこげーなことばばあ、よう使うたもんじゃ。今は昭和のじいさん、ばあさんが少のうなって、聞けんようになった。えんかわらんか、ようわからん」と。

## 《岡山弁協会》

岡山弁を伝統文化として後世に伝えていこうと2009年に設立。コロナで思うような活動が出来ない昨今も、岡山弁大会や岡山弁の集いを開催し、岡山弁の使用と保存を推進している。会員数は約100人、備中・備前・美作のみならず、宮城県、神奈川県、千葉県からの会員も。備中では倉敷市、笠岡市、総社市、浅口市、矢掛町に会員がいる。年2回発行の会報「あしたり」(現在24号)で交流を図っている。



岡山弁大会での「岡山弁劇」の一場面

備中地域の  
代表的な方言

あだくれる 危険を伴った状態であらつく(ふらついて落ちる)  
いらまかす ちよっかいを出す  
いんぎよちんぎよ ちぐはぐ  
うどんばり 入りくんだ場所が土が凹んでいるところ  
げし 山や畑の端の切り立ったところ。岸  
しねー しいなさい  
しよわーねー 大丈夫(備前では「せわーねー」という)



[住所] 〒714-1204 小田郡矢掛町下高末 2686  
[電話] 0866-83-0300  
[MAIL] [mikawa@hoharu.com](mailto:mikawa@hoharu.com)  
[WEB] <https://www.hoharu.com>

YAKAGE  
矢掛町

01

音読なんて飽き飽きNo More  
放課後サービス「ホハル」

ホハルは、発達に特性がある、または学校に行くことが苦手な子供たちが放課後に通う学びの場です。

ホハルでは学習支援もしていますが何度も何度も同じ物語を読まされる音読の宿題には、子どもも大人も飽き飽きしてしまいます。これでは物語を感じる情緒が育つどころか、物語が嫌いになってしまいます。そこでホハルでは「音読をラップでしよう」と試したところ、ラップで気持ちを伝えることが日常でも流行ってしまいました。この音源は本の物語と自分の気持ちをミックスした即興のリリックです!

Let's  
listen“音読ラップ”を聞こう!!  
QRコード読みでYOUTUBE再生

02

HAYASHIMA  
早島町

## 日々はぬか ぬかつくるとこ

「ぬか」は生活のケアを柱として、アートを活用した自分らしい生活をおくることのできる福祉事業所です。「ぬか」という一風変わった名前の由来は、漬け物などを漬けて発酵させる「ぬか床」から来ています。正面から捉えるとひるんでしまうことも、ちょっと角度を変えてみれば、だれも気付かなかった価値が生まれたりする。そういった価値や個々の魅力が「ぬか漬」のように時間をかけてゆっくりと発酵し、社会へ広がって行くことを願って付けました。ぬかで過ごす上で「決まり事」はありません。「好きな時に好きなことをする」。思い立ったが吉日。即興的にいろんなことが起きていきます。そして極力無理をしない。そんなぬかの日常には「音」が不可欠です。バックミュージックとしてスピーカーから音楽が流れていることもあれば、スタッフやぬかびと(利用者)さんが楽器を演奏することもあります。または、日常会話の笑い声。歩行するときの音、キッチンでランチを作るとき音など。音楽の風呂敷(解釈)を少し広げて、一人一人が出す生活音も音楽の一部と捉えてみる。雑多ではあるものの、賑やかで明るいアンサンブルを空間全体が奏でていることもあります。近所を歩く人が、中で何をやっているんだろう?という表情で覗き込むのは、賑やかな笑い声や音楽に誘われているのかもしれない。



## SPECIAL WORKSHOP

## 日々はぬか

ぬかの日常を覗きにきてみませんか?

[日程] 火曜日・土曜日 11:00-15:00

[料金] 無料

[定員] 応相談 [対象] 特になし

[問合せ・予約] 086-482-0002

[会場] ぬかつくるとこ

[その他] 新型コロナウイルス感染状況のみで受入れを制限させていただく場合もございます。ご了承ください。

[住所] 〒701-0304 都窪郡早島町早島 1465-1

[電話] 086-482-0002

[MAIL] [info@nuca.jp](mailto:info@nuca.jp) [WEB] <http://nuca.jp/>[SNS] <https://www.facebook.com/nuca.jp/>

KURASHIKI  
倉敷市

06

樽の生産から生まれた楽器カホン  
立花容器株式会社

創業106年の立花容器の桶樽技術が、間伐針葉樹材の楽器材としての価値を高めることがわかり、カホンの製造販売をしています。身近な材料から生活用具を作り出す伝統技術を見学してもらい、楽器作りやリズムワークショップを体験してもらいます。

## ● SPECIAL WORKSHOP

## 桶樽の技術で間伐材を楽器に!

倉敷市玉島の歴史から立花容器の経歴の案内、木製工場見学、当社桶樽を使った楽器作り挑戦していただきます。また、ドラム講師を交えてリズムワークショップをします。作った楽器以外にも立花容器の製品を改造して作った楽器に触れてもらいます。

[日程] 11/6(土) 13:00-16:00 [料金] 無料

[定員] 8名 [対象] 小学生以上 [会場] 立花容器 木製工場

[問合せ・予約] <https://reserva.be/joyfuljourney>

[住所] 〒713-8577 倉敷市玉島柏島 7047

[電話] 086-528-2417(代) [MAIL] [seto@spac.co.jp](mailto:seto@spac.co.jp)[WEB] <https://www.spac.co.jp/>KASAOKA  
笠岡市

04

廃校がもつくりの音でよみがえる  
海の校舎 (旧大島東小学校)

岡山県笠岡市、瀬戸内沿いにある廃校になった木造校舎と鉄筋校舎。ここでは木を削ったりミシンを踏んだりなどのもの作りの音と、鳥、虫、草木たちの自然の音が心地よく聞こえてきます。海の校舎は廃校を活用したクリエイターのためのシェアアトリエ。手仕事やデザインなど、生み出す人たちの仕事場として新たな場づくりに取り組んでいます。ノスタルジー溢れる豊かな環境で日々クリエイターが制作をおこない、校舎のあちこちで聞こえてくるクリエイター同士の雑談からは日常的に新しいアイデアが生まれます。定期的にワークショップやマルシェなども行われ、お客様と地域のにぎわいの場にもなります。

## ● SPECIAL WORKSHOP

## 【詩で遊ぼう】ちきゅうの声とたわむれる

人間界でいろいろあっても、地球は呼吸し、つねに声を発しています。そんな「声」に耳をすますと、ふだん感じていない気持ちに気づくかもしれません。詩なんてふだん読まないし、書かない・・・という人も大丈夫! 詩のソムリエが楽しくナビゲートします。

[日程] 11/7(日) 13:00-16:00 [料金] 1,000円(お茶とお菓子つき)

[定員] 20名 [対象] 子ども~大人 [会場] シェアアトリエ海の校舎

[問合せ・予約] 渡邊めぐみ [megwatanabe7@gmail.com](mailto:megwatanabe7@gmail.com)

[住所] 〒714-0033 笠岡市大島中 2553

[電話] 080-4040-6491

[MAIL] [info@uminokousha.com](mailto:info@uminokousha.com)[WEB] <https://uminokousha.com>KURASHIKI  
倉敷市

05

倉敷いぐさに耳をすませる  
須浪亨商店 - スナミトオルショウテン -

[住所] 〒710-1102 倉敷市茶屋町早沖

[WEB] <http://maruhyaku-design.com/>

倉敷市茶屋町では古くからイ草の栽培が盛んに行われてきました。主に畳表や花筵が製造されましたが、戦前戦後を中心に「ロク」と呼ばれる短い畳表に使えないイ草を使用した手工芸の文化も同時に発展しました。「いかご」もその1つで、今回作るびんかごは醤油やソースを買いに行くときに瓶を持ち運ぶ為に作られました。私は代々イ草に纏わる仕事を生業としている家に生まれました。父の代で花筵製造の事業は潰れてしまいましたが、物心ついたときから隣で祖母が籠づくりをしていて、機織りの音のする横で私も手を動かしていました。後に私が籠の作り方を教わる時にも、当時間こえていた機のリズムで身体を動かしました。幼いころからみていたのもあったからか、そんなに苦勞せず作ることができました。

Let's  
listen “機織りの音”を聞こう!!  
QRコード読込でYOUTUBE再生

bichu no kuni LIFE and SOUND ~くらしと音~

## PICK UP CONTENTS &amp; EVENT

音に関わる取り組みやイベントをご紹介します!

● 美観地区がジャズに染まる2日間  
「町家でジャズ!」

PICK UP CONTENTS &amp; EVENT

## 倉敷ジャズストリート 2021

[日程] 11/6-7 12:00-18:00

[料金] 前売1,000円 当日2,000円 500枚限定

[定員] 500名 [会場] 倉敷美観地区の複数会場

[問合せ] 086-424-8043 [対象] どなたでも

今年は規模を縮小して開催します。コロナ禍で、生の音楽を聴く機会というものが極端に減ってしまいましたが、この機会に生の音をご自身の体で体感してみてください。

〈倉敷ジャズストリート実行委員会〉

2009年の県民文化祭プログラム「倉敷ジャム」から続く住民手作りのイベントです。美観地区内の町家を中心とした複数会場です。美観地区の生演奏を行うという岡山最大のジャズイベントです。近年では日本のみならず世界からも多くの方にお越しいただき、町中でジャズの音色が響き渡る、文字通り美観地区がジャズ一色に染まる2日間となっています。



## ● 和のあかりによる癒しの空間創造

PICK UP CONTENTS &amp; EVENT

光・風・音 ~希莉光の世界~

[日程] 11/20-11/30 点灯時間

17:00-20:30 作品展示は9:00-

[料金] 無料 [定員] なし [対象] 一般

[会場] 倉敷市倉敷物語館 中庭

[問合せ] 090-3375-0464

倉敷発祥の希莉光(まりこ)あかりと

ともに、希莉光の形状の希莉光ふう

りんが風になびき優しい音色を響か

せる。日常の風景に、光・風・音でさ

らに癒しの空間を演出する。

〈和あかり創造集団 倉敷光作所(くらしきこうさくしょ)〉

季節を感じられる虫の声や鳥の声を活かし、癒しの光と音で和の空間を演出する。

幻想あかり~斎館~

[日程] 9/17-25

1回目 19:00-2/回目 20:00-

[料金] 1,000円 [定員] 各15名

[会場] コワーキングスペース斎館

(倉敷市) [対象] 一般

[問合せ] 090-3375-0464

秋の夜に響く虫の声を活かし、癒

しの音楽とともに倉敷発祥の希莉光

(まりこ)あかりや竹あかりなど、和

の庭園に癒しのあかりをとます。

## PICK UP CONTENTS & EVENT

音に関わる取り組みやイベントをご紹介します！



### ● 備中能楽講座～引いの声～

PICK UP CONTENTS & EVENT

#### 備中能楽講座

[日程・会場] 未定  
 コロナの状況を見ながら、開催日時、会場を調整中  
 [料金] 2,000円 [定員] 20名 [対象] 一般  
 [問合せ] 080-3107-5758  
 源平藤戸合戦で勝利をおさめた佐々木盛綱が児島に入ると、盛綱に浅瀬を教えて殺された漁師の母が、息子の恨みを訴え出る。罪を認めた盛綱が引いをする中、漁師の亡霊が現れるが…、備中ゆかりの能「藤戸」を能楽師・林宗一郎が語ります。  
 〈つくば片山家プロジェクト〉  
 築220年のつくば片山家の保存・活用と文化芸術の継承、安心して老いることのできる地域づくりをめざすNPOです。今年度は備中県民局との協働事業で「備中地域の伝統芸能を通じた地域活動」に取り組み、その第2弾「備中能楽講座」で能楽「藤戸」を能楽師が解説します。来年2月6日に「藤戸」の演能も予定しています。



### ● いついつまでも90歳でアルハンブラ

PICK UP CONTENTS & EVENT

#### 第3日曜日の友コンサート

[日程] 11/21 14:00-15:00 [料金] 無料  
 [料金] 15名 [会場] 一鱗(倉敷市)  
 [問合せ] 090-5378-6675  
 [対象] どなたでも  
 第3日曜日に集まってギターを練習している6人のコンサート。シルクロードのテーマ、アルハンブラの思い出、を演奏。同日の10:00-11:00は、隣の工房玉鱗で様々な素材を使って制作しているクラシックギターの弾き比べも楽しめます。  
 〈第3日曜日の友〉  
 第3日曜日9:00頃-15:00にクラシックギターを制作しています。  
 また、同日15:00-16:30頃まではクラシックギター愛好者10名で練習もしています。



### ● 古民家を学び合う空間に

PICK UP CONTENTS & EVENT

#### かくてかくゆき・音のたつ岡村勇佑/かとうかずみ

[日程] 11/13-21 10:00-17:00 最終日-16:00  
 [料金] 無料 [定員] 50名 [会場] 遊美工房(倉敷市)  
 [問合せ] 090-5378-6675 [対象] どなたでも  
 岡村は、音の聞こえるような色をテーマに屏風にの作品、掛け軸の作品を中心に、かとうは、耳に関する立体、丸いプラスチックの輪を使い遊美工房の吹き抜けの空間でのインスタレーション作品、クレパス画を展示  
 〈遊美工房〉  
 2001年から改装した古民家を活かして展覧会、音楽会、講演会、セミナー等を開催し、若い作家・演奏家等を迎えて参加者との交流を楽しみ、何かを学ぶことを大切にしている。古民家ゆえ、どの催し物も雨の音、風の音、通りの車の音、宣伝カーの音、神輿の音等自然の、また暮らしの音が普通にある中で開催となっている。演奏中の、さお竹りの声や神輿の掛け声には、演奏者もふっと微笑んで、お話しに切り替えたりと、臨機応変の対応に。

自然と文化を繋ぎ走るノスタルジック鉄道。

Let's Listen “乗車音”を聞こう!! QRコード読みでYOUTUBE再生



# R 井原鉄道 Ibara Railway Company

井原鉄道は、1999年(平成11年)1月11日開業。国内で20世紀最後に新規開通した鉄道です。岡山県の総社駅から広島県の神辺駅まで、総延長41.7kmを結んでいます。

どこまでも続く自然の風景、四季折々の彩りを見せる山々、ゆったりと流れる清らかな川。井原鉄道は総延長41.7kmのうち約8割が高架を走っており、車窓に広がるダイナミックな眺めを堪能することができます。途中には全長716mのなめらかにカーブした高梁川橋梁や3連トンネルなど、さまざまな眺望スポットがあふれる路線です。走行中、運転席の横に立てば、前面に迫る展望に目を奪われます。

井原鉄道の車両は全部で12両。そのうち10両がシルバー車体の通常車両です。4色のカラフルなラインが施され、コトコトと走る姿が可愛らしく微笑ましいと幅広いファンを魅えています。そして1両が茜色の特別車両「夢やすらぎ号」。水戸岡鋭治氏のデザインで、総天然木の内装により、落ち着いた温かみあふれるムードで人気です。さらにもう1両が、今年お目見えた「アート列車」。アーティストリック・ディレクターに津山市在住の美術家、太田三郎氏を迎え、車両内外に「切手」をモチーフとした大原美術館(倉敷市)所蔵の名画のデザインをラッピングしています。

誰もが一度は目にしたことのあるアートの名画・名品が、美術館からまちに飛び出し、豊かな自然に囲まれ四季折々の景色が楽しめる井原鉄道沿線に彩っています。



車両内外に「切手」をモチーフとした大原美術館所蔵の名画のデザインがラッピングされたアート列車

### 井原線の停車駅

- 総社
- 清音
- 川辺宿
- 吉備真備
- 備中呉妹
- 三谷
- 矢掛
- 小田
- 早雲の里荏原
- 井原
- いずえ
- 子守唄の里高屋
- 御領
- 湯野
- 神辺



### ● 高梁川流域音楽会～奏KANADE～ 笠岡諸島編

PICK UP CONTENTS & EVENT

#### 奏KANADE コンサート

[日程・料金・会場] 未定  
 コロナの状況を見ながら、開催日時、会場、オンラインコンサートにするかなど検討する。  
 [問合せ] 090-7379-3071  
 [定員] 15名 [対象] どなたでも  
 二十五絃奏者 山本亜美、コントラバス 沢田謙治、歌 おおたか静流によるコンサート  
 〈高梁川流域音楽会 奏KANADE実行委員会〉  
 笠岡諸島の祭りや景色、風・波・鳥の笑顔などの映像と音を取録する。また、島で歌い継がれている矢われつある唄などを、次の世代や島外の人へ継承し、発信する活動



### ● 郷土玩具に見るアナログな音の愉しみ

PICK UP CONTENTS & EVENT

#### 日本郷土玩具館

[時間] 10:00-17:00  
 [住所] 倉敷市中央1-4-16  
 [WEB] <https://www.gangan.jp>  
 [問合せ] 086-422-8058  
 1967年に江戸期の米倉を改装して開館。江戸期から昭和初期にかけての日本の郷土玩具と、世界各国の玩具約4万点を收藏し、約10,000点を常設展示している。中には土鈴、回すとうなるぶんぶんコマ、ガラスで出来たポッペン、でんでん太鼓、鳩笛、薬細工のガラガラなど、人の手の動きや息を吹く調子で、音色やリズムが変わるアナログな玩具も多数展示されていて、現代のデジタルな玩具にはない趣や、コミュニケーションのあり方について考えさせられる。期間中は倉敷ガラスの小谷眞三氏制作の大きなポッペンを展示



### ● 前向きで優しい音楽が流れる開放的なリフレッシュ空間

PICK UP CONTENTS & EVENT

#### つばきの丘運動公園

[時間] 入園自由 車で越しの場合8:30-19:00 (10月からは17:30まで) [駐車場] 50台  
 音楽は10時と15時前後の2回流れます。  
 [住所] 浅口郡里庄町大字里見2392  
 [問合せ] 0865-64-7266(つばきの丘運動公園管理事務所)  
 新型コロナウイルス感染症対策のため、普段と同じような暮らしが送れない日々が続く、不安な気持ちを抱えている皆さんの気持ちが少しでも安らぐように、前向きに誰もが優しくなることができるような音楽を公園内で放送しています。曲の中には里庄出身のミュージシャンで人気の藤井風さんの曲も含まれています。公園内は、遊具、広場、遊歩道があり、子どもから大人まで楽しめます。開放的な空間で、前向きな音楽を聞きながら、少しだけ体を動かして、疲れた心と体をリフレッシュしてみませんか。

# 音を聞いてクイズに挑戦！ この音、何の音？

What's that sound?

くらしに関する様々な音を10種類聞いて、何の音かを当てるクイズです！  
全問正解した方の中から抽選で、「晴れの国おかやまのおいしい県産品」を10名様にプレゼントします。応募フォームの選択肢から回答を選んで、どなたでもご参加いただけます。当選者の発表は、賞品の発送をもって代させていただきます。クイズの正解は、12月中におかやま県民文化祭「これがOKAYAMA!」プログラムのWEBページにて発表します。皆様、ふるってご応募ください！

ヒントはこの冊子の中にもありますよー！

クイズはこちら QRコードを読み込んでクイズにチャレンジ!



## 回答の選択肢

聞き分けられる自信がある！と思った方はぜひご参加ください！

- |                                       |                                  |                                      |  |
|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 風鈴           | <input type="checkbox"/> 水車      | <input type="checkbox"/> 線香花火        | <input type="checkbox"/> 旧野崎家住宅の水琴窟    |
| <input type="checkbox"/> マッチを擦る音      | <input type="checkbox"/> 小川のせせらぎ | <input type="checkbox"/> 民謡「下津井節」    | <input type="checkbox"/> 頼久寺庭園の水琴窟     |
| <input type="checkbox"/> やかんで湯をわかす音   | <input type="checkbox"/> 振り子時計   | <input type="checkbox"/> 民謡「備中ござおり唄」 | <input type="checkbox"/> ゆるびの舎の水琴窟     |
| <input type="checkbox"/> 黒電話・鳴る音      | <input type="checkbox"/> かき氷を削る音 | <input type="checkbox"/> 民謡「千屋牛追唄」   | <input type="checkbox"/> 広兼邸の水琴窟       |
| <input type="checkbox"/> 黒電話・ダイヤルを回す音 | <input type="checkbox"/> 焼き肉を焼く音 | <input type="checkbox"/> 民謡「北木島石切唄」  | <input type="checkbox"/> 笠岡市立竹喬美術館の水琴窟 |

全問正解者の中から抽選で  
10名様 晴れの国おかやまの“おいしい”  
県産品プレゼント!



杜鰯のアヒージョ



岡山産フルーツの缶詰

写真は、県産品のイメージです。なにが風呂かはお楽しみ、ぜひご応募ください。

## 岡山県特産品ショップ 晴れの国おかやま館

岡山県産品応援!! お得なキャンペーン実施中!

ネットと店舗、どちらでも「もらえる!」「使える!」  
お得なクーポン券をゲットしよう!

※予算額に達し次第終了します。

岡山銘菓などのお土産をはじめ、地元のかたわりの食品、備前焼、民芸品など、岡山県の特産品が一堂に揃う特産品ショップ。JR岡山駅や岡山後楽園からも徒歩圏内なので、まち歩きの中にショッピングができて便利。

キャンペーンなどの詳しい情報はWEBサイトをチェック!

晴れの国おかやま館 検索

所 岡山市北区表町1-1-22  
時 10:00~19:00  
休 火曜日(祝日の場合は営業)  
交 JR岡山駅から徒歩約15分  
問 086-234-2270

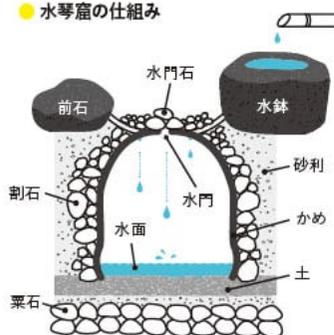
岡山県特産品ショップ「晴れの国おかやま館」(岡山市北区)でのお買いものがお得です!  
県産品先上り上乗車  
最大30%戻ってくる!  
お得なクーポン岡山応援キャンペーン  
実施期間 令和3年7月1日(木) ▶ 令和4年1月31日(月)  
クーポン数の消費は令和4年1月10日(月)まで  
クーポン数の消費は令和4年1月31日(月)まで

ネットでのお買いものがお得です!  
「ネットで買える!」おかやま県産品販売促進事業  
最大30%ポイント特典キャンペーン  
実施期間 令和3年6月11日(金) ▶ 令和4年1月31日(月)  
※ポイントの消費期間は令和4年1月10日(月)まで  
※ポイントの消費期間は令和4年1月31日(月)まで

### ● 水琴窟とは

日本庭園の装飾の一つです。蹲踞(つくばい)や水鉢(ちようずばち)の下など、主に地中に大振りの壺(かめ)を伏せて埋めておき、水を注いだ際に、埋めた壺の中に水滴が落ち、壺の底に溜まった水に当たって内部で反響する音の仕掛けです。地中に伏せた壺に落ちる水が、琴の音を思わせてかすかに響くことから、その名がついたと言われています。一説には、江戸初期の大名茶人で備中国奉行としても知られる小堀遠州(こぼりえんしゅう)が排水を目的として創案した庭園施設、洞水門が水琴窟の原型とも伝えられています。

### ● 水琴窟の仕組み



皆さんは、水琴窟の音を聞いたことがありますか?  
備中地域には、水琴窟が多く残っており、中には江戸期に作られたものも、それらは今日でもとてもいい音を響かせて、私たちの耳を楽しませ、心を和ませてくれます。  
ここでは、備中地域の代表的な水琴窟をご紹介します。  
これまで水琴窟という存在を知らなかったという方は是非、サンプルを参考に実際の音を聞いてみてください。  
以前に一度訪れたことのある場所を、水琴窟の音を目当てにもう一度訪れるのもいいですね。



## すいきんくつ 水琴窟 のある場所

bichu no kuni



### 4. 広兼邸

【住所】〒719-2342  
高梁市成羽町中野2710  
【電話】0866-29-2205  
(高梁市観光協会会館支店)

【開館】10:00-17:00(4月~11月)、10:00-16:00(12月~3月)【休館】12月29日~31日  
【料金】大人400円 小人200円  
【WEB】[http://www.takahasikanko.or.jp/modules/spot/index.php?content\\_id=25](http://www.takahasikanko.or.jp/modules/spot/index.php?content_id=25)



### 2. 頼久寺庭園

【住所】〒716-0016  
高梁市頼久寺町18  
【電話】0866-22-3516  
【庭園拝観】9:00-17:00

※年中無休【拝観料】大人400円、中高生200円、障がい手帳をお持ちの方:150円(介助者1名同額)  
【WEB】<http://raikyujima/>



### 5. 笠岡市立竹喬美術館

【住所】〒714-0087  
笠岡市六番町1-17  
【電話】0865-63-3967

【開館】9:30-17:00(入館は16:30まで)【休館】月(祝日の場合翌日)、年末年始、陳列替期間中  
【料金】【常設展】個人:一般500円、高校生以下は無料 ※割引、減免についてはお問い合わせください。  
【WEB】<http://www.city.kaasaoka.okayama.jp/site/museum/>



### 3. ゆるびの舎

【住所】〒701-0303  
都窪郡早島町早湯370-1  
【電話】086-482-4800  
【開館】平日9:00-21:00、日・

祝日9:00-18:00。但し施設利用がある場合は22:00に閉館します。  
【定休】月曜日。但し月曜日が祝祭日の場合はその翌日(火曜日)を休館します。  
毎月最終木曜日(施設設備保守点検日)、12月28日~翌年1月4日(年末年始)  
【WEB】<http://www.town.hayashima.lg.jp/yurubinoya/index.html>



### 1. 旧野崎家住宅

【住所】〒711-0913  
倉敷市児島味野1丁目11-19  
【電話】086-472-2001  
【開館】9:00-16:30

【定休】月曜日(祝祭日の場合は翌日)、12/25~1/1  
【料金】大人500円、小・中学生300円、団体割引30名様以上2割引。  
土・日・祝日 小・中学生、高校生は無料になります。障がい者割引有り(手帳ご提示で御本人様および付き添いの方1名様2割引)  
【WEB】<https://www.nozakike.or.jp/>

QRコード誘導で  
YouTube再生  
“水琴窟の音色”を  
聞き比べてみよう!!  
気になったら現地にも  
足を運んでみよう!

# Art Management Online Seminar

好きなところから参加できる  
オンライン研修

## 結局、 AIRって何なの?!

アートマネジメント  
オンライン研修

日本国内でも国際的な芸術祭やアートプロジェクトが多く行われるようになりました。時を同じくして、AIR（アーティスト・イン・レジデンス）という言葉も多く聞かれるようになってきました。AIR（アーティスト・イン・レジデンス）とは、様々な芸術制作を行うアーティストを一定期間ある地域に招聘し、アーティストがその地域に滞在しながら作品制作を行う事業のこと。最近では、行政規模の小さな地方都市がAIRに取り組む事例も見られます。

実際のところ、AIRの現場では何が起きているのでしょうか。そもそも誰のために、何のためにござってAIRを招聘するのでしょうか。アーティストから見たAIRとは？地域にとってのAIRとは？AIRって本当にやる意味あるの？

今回のセミナーでは、言葉だけが先行して知った気になっているAIR（アーティスト・イン・レジデンス）の本質について、具体的な先進事例から学び、考えます。講師は、現在、京都府の文化担当でアーティスト・イン・レジデンス事業や京都府地域文化創造促進事業等のプログラムディレクターを務める八巻真哉さんです。

10/12 火曜日  
15:00-16:00

[開催] Zoom 配信  
[料金] 無料  
[申込み・お問合せ]  
右下のWEBフォーム or お電話にて

講師：八巻 真哉 Shinya Yamaki  
(京都府文化スポーツ部文化芸術課)

2015年6月より京都府文化スポーツ部文化スポーツ芸術課に所属し、京都府域での文化芸術による事業企画の実施・運営等にかかわる。現在は地域文化振興担当として、アーティスト・イン・レジデンス事業や京都府地域文化創造促進事業等のプログラムディレクターを務める。

京都府地域文化創造促進事業では、文化活動を支援する専門人材（地域アートマネージャー）を京都府の広域振興局に配置し、それぞれの地域で文化活動を支援する体制を作っている。



### ▶ 実験室35 ◀ 町工場を音楽レーベル化する

## INDUSTRIAL JP



町工場の製造現場で採取した機械音をサンプリングし、ミュージシャンがオリジナル楽曲を作成、同じく撮影した製造工程の動画とミックスすることで、画期的なミュージックビデオとして発信している「INDUSTRIAL JP」プロジェクト。このユニークなプロジェクトは国内外の音楽愛好家、工場マニアだけでなく、製造の現場サイドやその工場が立地するエリアの人々からも熱い支持を受けています。ものづくりの現場が、町から離れた工業地帯の中に移動してしまったり、あるいはセキュリティが強化されるようになり、町工場の仕事について、私たちの知る機会が激減しました。昔は、町の中に生産の音が流れ出てきたり、出来上がったものが道端に積み上げられていたりして、なんとなく生産現場のことを想像できたものです。

モノが加工され、どんどんと変化していく風景は何人をも魅了します。それは人の知恵や技術がふんだんに注ぎ込まれ、研ぎ澄まされた世界です。今回はトークのあと、大きな画面でINDUSTRIAL JPの映像と音楽を使ったライブを楽しみましょう。

[日時] 11/14(日) 11:00-16:00 [料金] 1,000円  
[会場] 蔭涼寺(岡山市北区中央町10-28)  
[分野] 音楽、映像、美術、写真、デザイン、建築



下浜隆太郎 | 1983年東京都生まれ。現在、主に東京と北陸の二拠点で活動する。路上で見つけた看板をフォント化する「のらもじ発見プロジェクト」町工場を音楽レーベル化する「INDUSTRIAL JP」などの活動や、美術館やデザインミュージアムでの展覧会への参加を積極的に行っている。著書に「おとなのための創造力ドリル【のらもじ】(共著)」など。受賞歴に、TDC賞RGB賞、第18回文化庁メディア芸術祭優秀賞、東京ADCグランプリ、グッドデザイン金賞など。



福原真祐 | 1965年生。俳優、写真家、音響エンジニア。京都・南禅寺専門道場で10年間修行。葬儀中心の仏教に留まらず「今を、どう生きるか」をテーマに、音楽やアートによる「豊かな心」創りに取り組む。安心(あんじん)への方便として自らもカメラを握る。220枚の等身大写真がファッションショーのように動くインスタレーション展「学びの庭は我がが誇り」(2005年)では5日間で1,200人が来場、全テレビ局にニュース報道された。現在は自坊の蔭涼寺を活かした様々なイベントを展開中で、音楽ライブでは自身が音響も手掛ける。その高音質は海外にも知られている。

### ▶ 実験室34 ◀ 建築探偵団 其の五

## 地形図から読み解く 円通寺西側の集落



玉島の円通寺といえば、良寛さんが修行をした場所として有名ですが、その西側の集落である魅力的な久々井地区を知る人は意外に少ないでしょう。ここには、古い立派な建築物がたくさん残っています。代を替わりながらも、人々が住み続けている建物もたくさんありますが、使われなくなって久しい物件も多々あります。玉島は海を埋め立てて出来上がった町ですが、この久々井地区は柏島の北端に位置します。連島の廻船問屋を移築した大きな古民家には、米の燻蒸蔵を抱えた珍しい建物もあります。

しばしば紹介される玉島の町の中心地ではなく、ちょっと視線をずらしたこのエリアを、建築家の方々と地形図や資料を携えて一緒に歩きながら、伝統的な建築の特徴や魅力、町の成り立ちの面白さをみんなで発見してみましょう。

[日時] 10/10(日) 12:00-16:00 [料金] 1,000円  
[会場] 倉敷市玉島久々井地区  
[分野] 建築、美術、歴史、教育、デザイン



真野 洋介 | 東京工業大学環境・社会理工学院建築学系 准教授 / 1971年生まれ、倉敷市出身。早稲田大学理工学部建築学科卒業 同大学院修了、博士(工学)。専門は都市の再生とまちづくり  
主な著書に、「まちのゲストハウス考」(学芸出版社、2017)、「まちづくり教書」(鹿島出版会、2017)など。直近の論説として、「ライフシフトと地域デザイン」(まちむら 150-153号、あしたの日本を創る協会、2020)がある。



石田尚昭 | 東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修了。1980年岡山市役所入庁(建築職)後、庭園都市推進課長、都市整備局審議監(都市・交通・公園担当)として、市民協働による西川緑道公園の活用事業(西川パフォーマ)や旭川がわまちづくり事業(さくら道桜の保全)を手がける。2016年退職。現在、岡山市都市整備局まちづくりアドバイザー、国立大学法人岡山大学地域総合研究センターアドバイザー、公益財団法人岡山文化芸術創造理事



これまでの実験室の様子をWEBサイトで公開中  
「文化芸術交流実験室」で検索！  
<https://o-bunren.jp/lab/>

### ▶ 実験室33 ◀ 子どもの心に届けるプログラム

## 音楽のアウトリーチ



日本全国には音楽ホールや文化施設がたくさん設置されています。そこで演奏活動を行う音楽家が、その建物の中だけでなく、設置された地域の教育機関に向かい、演奏活動やワークショップを行うアウトリーチという事業も盛んに行われています。この事業では、演奏家自らが、子どもたちに音楽だけでなく広く文化芸術への興味や、新たな楽しさを誘発するような柔らかなプログラムを工夫しています。ピアニストの田村緑さんは音楽・国語・図工をミックスした優れたアウトリーチで、心に染み入るような時間を生み出しています。そのプログラムの秘密はどこにあるのか、一緒に体験してみましょう。お話のお相手として、岡山県文化連盟の学校出前講座で長らくお世話になっている声楽家の佐々木英代さんにご登場いただきます。

[日時] 9/23(木・祝) 11:00-16:00 [料金] 1,000円  
[会場] やかげ町家交流館 谷山サロンの  
[分野] 音楽、美術、文学、教育



田村緑 | 躍動感に満ち、情感溢れる演奏スタイルと、在英経験を活かした独自のプログラムが注目され全国で演奏活動を展開。普及の分野では先駆者的存在。英国ギルドホール音楽院ピアノ科首席卒業、シティ大学院修了、IC・ベートーヴェン・ピアノコンクール第1位。(一財)地域創造・協力アーティスト。2016-2018 いわきアリオス・アソシエイト・アーティスト。CD「魅惑のピアノ名曲集」他



佐々木英代 | 国立音楽大学声楽科卒業。日本歌曲の研究・普及をライフワークとし、1976年より近代日本音楽研究会を主催し、リサイタルや日本のうた講座、アマコンサート等、日本歌曲連続演奏会を開催。合唱指導も永年携わり、岡山は元より6ヶ国11回の海外公演を為し、ルネスホールと共にアウトリーチ事業にも力を注いでいる。第1回岡山県芸術文化賞受賞。あっ咧れ！おかも地域文化賞受賞。マルセリススポーツ・文化特別賞受賞。地域文化功労者文部科学大臣表彰

文化芸術交流実験室/アートマネジメントオンライン研修



お申込み・お問合せは  
WEBフォーム or お電話にて  
TEL 086-234-2626  
<https://o-bunren.jp/livingwithsound/>



# 文化芸術交流実験室

トークセッションとワークショップがセットとなった新しい切り口のシリウス企画  
これまでになかった素敵な化学反応を、みんなまで起こしてみませんか？

シリウス企画